

平成28年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2月募集】入学試験問題

講 座	経済理論・統計、比較経済、政策科学、 経営学、組織経済学、 地域公共政策コース
専門科目	ミクロ経済学

以下の問1、問2の両方に解答しなさい。なお、問1は解答用紙の第1ページと第2ページに解答し、問2は解答用紙の第3ページと第4ページに解答しなさい。

問1 ある財の市場の需要曲線と供給曲線はそれぞれ

$$d = 150 - 2p, \quad s = p$$

(d : 需要量、 s : 供給量、 p : 価格)

である。この財には1単位当たり30の従量税が課され、納税義務者は消費者とする。従量税が課された場合に、消費者が財を購入する価格を需要価格、生産者が財を販売する価格を供給価格と呼ぶ。

- (1) 市場が均衡している場合の取引量、需要価格、供給価格、消費者余剰、生産者余剰、従量税の額をそれぞれ求めなさい。また、需要曲線と供給曲線を用いて、取引量、需要価格、供給価格、消費者余剰、生産者余剰、従量税を図示しなさい。
- (2) 従価税によって同じ状況を実現するには税率をいくらにすべきか。

問2 異なる二市場（市場1と市場2）に財を供給する独占企業を考える。市場1と市場2の需要量は異なり、それぞれ以下のように示されているとする。

$$D_1(p_1) = 8 - p_1$$

$$D_2(p_2) = 6 - p_2$$

（ D_1 ：市場1の需要量、 p_1 ：市場1の財価格、 D_2 ：市場2の需要量、 p_2 ：市場2の財価格）
また、独占企業の費用関数は以下のように表されており、 q_1 、 q_2 は各市場への財の供給量である。

$$C(q_1, q_2) = 2(q_1 + q_2) \quad q_1 \geq 0 (q_2 \geq 0)$$

- (1) 独占企業が利潤最大化行動を取るとき、市場1と市場2の財価格を求めよ。
- (2) 経済厚生が最大となるとき、市場1と市場2の財価格を求めよ。

以上